

環境経営レポート

2024年度版



対象期間：2024年4月～2025年3月



【広島】



【山陰】



【岡山】



【山口】



【東四国】



【四国】

発行日 2025年11月8日

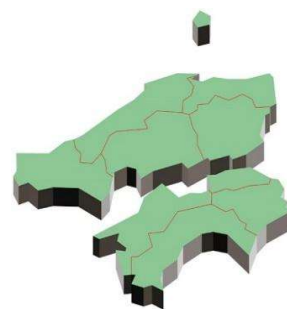


《スバル中四国株式会社》

2024年度 《中四国スバルグループ》
【統括会社】 広島スバル株式会社
【事業会社】 山陰スバル株式会社 岡山スバル自動車株式会社
山口スバル株式会社 東四国スバル株式会社
四国スバル株式会社

【1】組織の概要

スバル中四国株式会社（旧 中四国スバルグループ）



1. 本社（旧 広島スバル株式会社）

(1) 所在地：〒733-0012 広島市西区中広町1-3-17

(2) 代表者氏名：代表取締役社長 鈴木 泰介

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

| | | |
|---------|-----------------|--------|
| 環境管理本部長 | 常務取締役 | 小林 研一 |
| 本社事務局長 | 管理本部 副本部長 | 松元 健 |
| 本社事務局 | 総務部 総務ESG課 課長 | 高本 かおり |
| 本社事務局 | 総務部 総務ESG課 担当課長 | 岡下 大輔 |
| 本社事務局 | 総務部 総務ESG課 主査 | 的場 浩二 |
| 本社事務局 | 総務部 総務ESG課 | 佐伯 恵一 |

連絡先 TEL 082-291-4355 / FAX 082-291-6555

(4) 事業の内容

スバル車の販売並びに付随する関連業務

- ①新車販売 中古車販売
- ②車検・定期点検・一般修理
- ③自動車の部品・用品等の関連商品の販売
- ④自動車リース
- ⑤自動車保険代理業務等

(5) 事業の規模（2024年度中四国スバルグループ合計）

- ①年間売上高 37,424百万円 (2024年度※)
 - ②新車販売台数 6,989台 (2024年度※)
 - ③中古車販売台数 5,686台 (2024年度※)
 - ④従業員数(派遣、パート含む) 846人 (2025年4月1日現在)
 - ⑤関連事業所 別途【スバル中四国株式会社 店舗一覧表】参照
- ※事業年度 4月～3月

2. 事業本部・営業部

1/3

(1) 事業本部名：第1事業本部（鳥取・島根エリア、岡山エリア）

(2) 所在地：〒701-0144 岡山県岡山市北区久米333-1

(3) 環境保全関係の責任者

第1事業本部長 取締役 和田 哲也

鳥取・島根エリア

(1) 部署名：山陰営業部（旧 山陰スバル株式会社・本社）

(2) 所在地：〒689-3546 鳥取県米子市熊党330-3

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

| | | |
|-----------|-------------------|-------|
| 営業部 推進責任者 | 営業部 部長 | 池谷 康一 |
| 営業部 環境管理者 | 営業部 営業支援グループ 担当部長 | 林原 秀行 |
| 営業部 推進委員 | 営業部 営業支援グループ | 外山 芳則 |

連絡先 TEL 0859-27-9030 / FAX 0859-39-3013

岡山エリア

(1) 部署名：岡山営業部（旧 岡山スバル自動車株式会社・本社）

(2) 所在地：〒701-0144 岡山県岡山市北区久米333-1

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

| | | |
|-----------|-------------------|--------|
| 営業部 推進責任者 | 営業部 部長 | 河本 晃幸 |
| 営業部 環境管理者 | 営業部 営業支援グループ 担当部長 | 宇津木 聡 |
| 営業部 推進委員 | 営業部 営業支援グループ | 地割 美知留 |

連絡先 TEL 086-241-0811 / FAX 086-244-0368

2/3

- (1) 事業本部名：第2事業本部（広島エリア、山口エリア）
- (2) 所在地：〒753-0871 山口県山口市朝田1049-1
- (3) 環境保全関係の責任者
第2事業本部長 常務取締役 小林 健一

広島エリア

- (1) 部署名：広島営業部（旧 広島スバル株式会社・本社）
- (2) 所在地：〒733-0012 広島市西区中広町1-3-17
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
営業部 推進責任者 営業部 部長 井上 浩二
営業部 環境管理者 営業部 営業支援グループ 部長代理 繁村 吉寛
営業部 推進委員 営業部 営業支援グループ 伊崎 大介
連絡先 TEL 082-299-6205 / FAX 082-299-6255

山口エリア

- (1) 部署名：山口営業部（旧 山口スバル株式会社・本社）
- (2) 所在地：〒701-0144 岡山県岡山市北区久米333-1
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
営業部 推進責任者 営業部 部長 福居 英樹
営業部 環境管理者 営業部 営業支援グループ 担当部長 一野坪 哲
営業部 推進委員 営業部 営業支援グループ 上利 知代
連絡先 TEL 083-922-2022 / FAX 083-922-3115

3/3

- (1) 事業本部名：第3事業本部（香川・徳島エリア、愛媛・高知エリア）
- (2) 所在地：〒760-0080 香川県高松市木太町2683
- (3) 環境保全関係の責任者
第3事業本部長 取締役 大野 洋司

香川・徳島エリア

- (1) 部署名：東四国営業部（旧 東四国スバル株式会社・本社）
- (2) 所在地：〒760-0080 香川県高松市木太町2683
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
営業部 推進責任者 営業部 部長 柳原 一仁
営業部 環境管理者 営業部 営業支援グループ 担当部長 漆原 章浩
営業部 推進委員 営業部 営業支援グループ 清水 範幸
連絡先 TEL 087-861-1621 / FAX 087-861-1623

愛媛・高知エリア

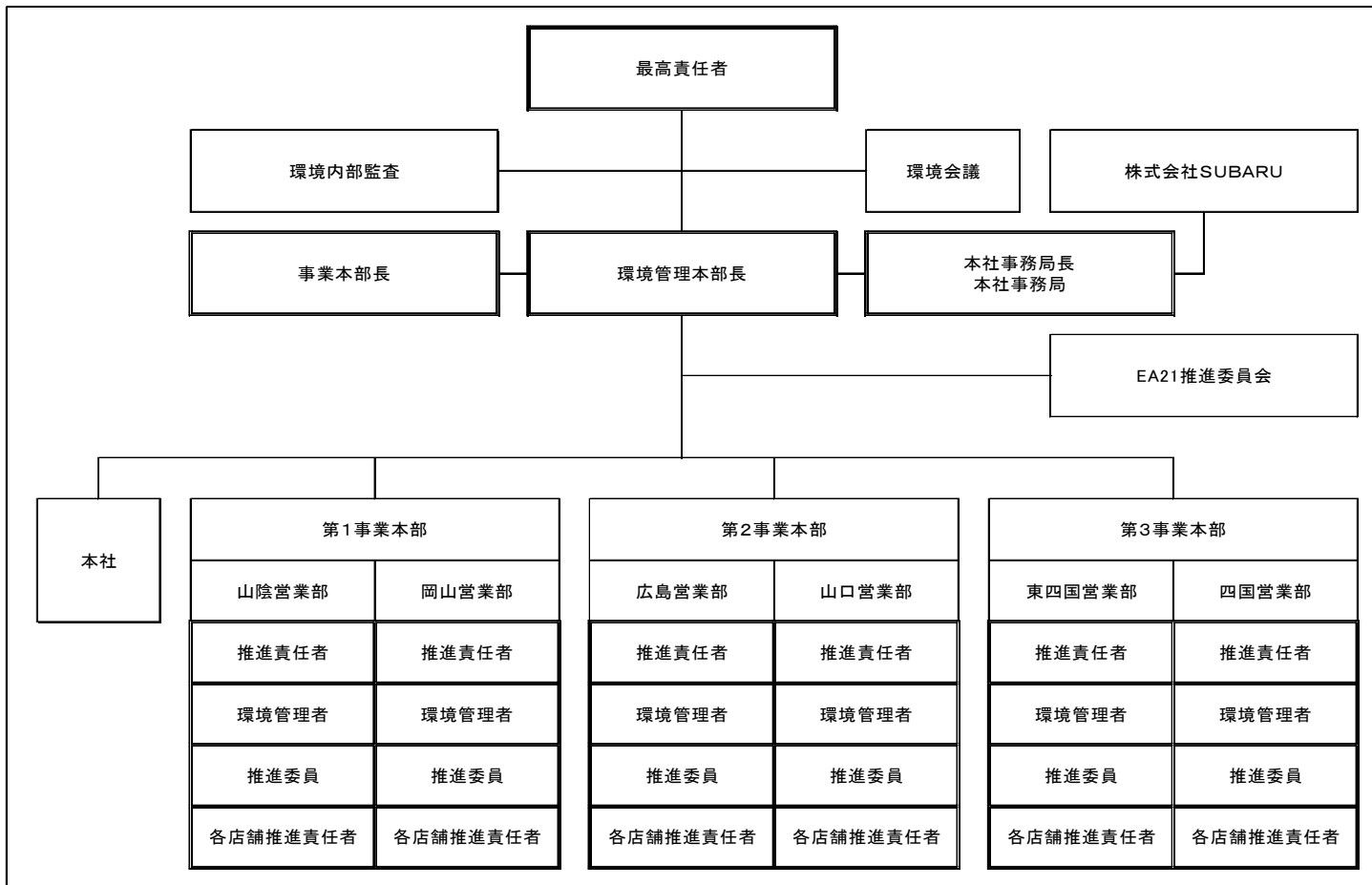
- (1) 部署名：四国営業部（旧 四国スバル株式会社・本社）
- (2) 所在地：〒791-8036 愛媛県松山市高岡町463-1
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
営業部 推進責任者 営業部 部長 越智 俊彰
営業部 環境管理者 営業部 営業支援グループ 担当部長 宮下 卓也
営業部 推進委員 営業部 営業支援グループ 大北 智彦
連絡先 TEL 089-972-5297 / FAX 089-972-0158

3. 対象範囲

全組織 【12】記載の組織すべて

全活動 新車及び中古自動車の販売・整備・修理・自動車部品の販売、
自動車保険業務、自動車リース業務に適用する。

【2】EA21推進組織図



【3】EMS推進責任権限表

| 担当者、会議体 | 役割、責任及び権限 |
|--|--|
| 最高責任者(代表取締役社長) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム(EMS)執行の最高責任者 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確化する ・環境経営方針を定める。また必要に応じ見直す ・EMSの見直し(統括マネジメントレビュー)を行なう ・要員(人材)、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する ・環境管理責任者を任命する |
| 環境管理本部長(常務取締役) 各事業本部長(取締役) 本社事務局長(管理本部 副本部長) | <ul style="list-style-type: none"> ・本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持する責任と権限を有する ・策定された全社環境経営目標(中期と当該年度)を承認する ・「環境関連法規制等一覧表」を確認し、最新状態であることを承認する ・環境経営マニュアル、手順書、帳票等の文書の最新版を維持管理する ・緊急事態訓練結果記録の実施状況、見直しの必要性の確認及び承認 ・環境に関する行政機関対応の責任者(法規制対応も含む) ・マネジメントレビューの報告情報を取り纏め報告する ・教育訓練実施記録の実施状況確認及び承認 ・外部からの苦情対応の責任者 |
| 本社事務局(総務ESG課) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理本部長、本社事務局長を補佐し、EMSの確立・実施・維持全般に関する業務を行なう ・環境経営方針に沿って全社環境経営目標(中期と当該年度)を策定する ・「環境関連法規制等一覧表」を作成し、最新状態を維持する ・環境経営マニュアル・手順書・帳票等の見直し、最新版管理 ・緊急事態訓練の計画を策定し、店舗の実施を推進する ・環境に係わる教育訓練計画を策定し、店舗の実施を推進する ・各部門・各店舗との調整、情報の伝達、提出物の確認、実績集計 ・EMSの進捗管理、審査対応窓口(外部との調整を含む) ・マネジメントレビューの情報収集・整理 ・株式会社SUBARUの環境推進部門との窓口 |
| 各営業部 推進責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・各営業部の環境活動全体の責任者で営業部長が担当 |
| 各営業部 環境管理者 | <ul style="list-style-type: none"> ・各営業部の環境活動の実施責任者で営業支援グループ責任者が担当 ・推進責任者を補佐し、現地活動を主体とした業務を行なう |
| 各営業部 推進委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・各営業部の環境活動の実務担当者で営業支援グループスタッフが担当 ・環境管理者を補佐し、現地活動を主体とした業務を行なう |
| 店舗推進責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・各店舗の環境活動の実質的実施責任者で各店長が担当 ・環境経営計画を実施し、環境経営目標を達成することが最重要任務である |
| 店舗推進委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・店舗責任者を補佐し、実質的な活動の推進者 店長が指名した者が担当 ・必要な場合は、部門・店舗推進委員の元に推進員を置くことが出来る |
| 一般従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境経営方針・環境経営目標・環境経営実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む |
| マネジメントレビュー | <ul style="list-style-type: none"> ・主催者: 代表取締役社長 ・構成員: 役員会参加メンバー ・会議目的: EMSを規定した通り適切に運用しているか、有効に機能しているか、目標の達成状況、問題点の明確化と改善の方向を示す ・開催頻度: 役員会の場を利用して行なう。2回/年(5月、11月) ・記録の有無: 記録を残す(「マネジメントレビュー議事録」: 本社事務局作成) |
| 環境会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・主催者: 代表取締役社長 ・構成員: 役員会参加メンバー ・会議目的: 環境活動に関する重要な課題がある場合に、役員会の一部として議論する ・開催頻度: 1回/年 程度(必要な場合のみ) ・記録の有無: 記録を残す |
| 内部監査 | <ul style="list-style-type: none"> ・主催者: 本社事務局(実施の指示) ・監査頻度: 監査の実施は2年間で全店舗を行なう ・構成員: 営業部環境管理者、営業部推進委員、新車店舗店長 ・記録の有無: 内部監査チェックリストにより記録を残す |
| EA21推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・主催者: 本社事務局 ・構成員: 本社事務局、各営業部環境管理者、各営業部推進委員 ・会議の目的: 環境活動の推進、情報伝達、意見交換等 ・開催頻度: EA21担当者会議の場を利用して行なう。4回/年(6月、9月、12月、3月) ・記録: 記録を残す(本社事務局作成) |

【4】環境経営方針

環境経営方針

《基本方針》

スバル中四国株式会社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を認識し、自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務などの事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

《行動指針》

1. 適用される環境関連法規制や当社が約束したことを守ります。
2. 環境経営目標を定めその達成に向けて活動すると共に定期的に見直し、環境パフォーマンスの継続的改善に努めます。又当社が販売・提供するサービスの環境負荷の削減を行います。
3. 具体的には、以下の事項に取り組みます。
 - ① 課題とチャンスを踏まえ、健全な職場づくり・快適な店舗づくりに努める
 - ② 省エネルギーの推進（電力使用量・自動車燃料使用量を抑える）
 - ③ 省資源（水使用量・紙使用量を抑える「森林保護等目的」）
 - ④ 廃棄物総排出量の削減とリサイクルの推進
 - ⑤ 清掃活動など、地域の環境改善への貢献
 - ⑥ 環境対策車の拡販、車両点検整備の促進
 - ⑦ SDGsの取組促進
 - ⑧ 一つのいのちプロジェクトの取組促進

この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

制定日 2011年11月18日

改定日 2025年 8月 1日

スバル中四国株式会社

最高責任者 **鈴木 泰介**

【5】過去の環境負荷状況

環境への負荷の自己チェックの結果、2020年度～2024年度の主な環境負荷の状況は下記の通りです。

【中四国スバルグループ】

| 項目 | | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------------------|------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 電気使用量 | | kWh | 3,693,543 | 3,917,196 | 4,197,279 | 4,316,677 | 4,596,197 |
| 燃料 | ガソリン | L | 474,683 | 438,252 | 315,439 | 270,268 | 268,616 |
| | 灯油 | L | 4,138 | 3,783 | 2,958 | 2,925 | 1,612 |
| | 軽油 | L | 97,472 | 89,538 | 80,037 | 69,999 | 68,587 |
| | LPG | kg | 6,405 | 5,869 | 4,756 | 4,891 | 5,479 |
| | 都市ガス | m ³ | 2,263 | 2,706 | 2,770 | 3,017 | 3,109 |
| 二酸化炭素排出量 | | kg-CO2 | 3,449,467 | 3,467,080 | 3,307,757 | 2,816,364 | 2,796,650 |
| 水使用量 | | m ³ | 33,240 | 31,647 | 28,599 | 26,301 | 24,153 |
| 主な化学物質 四国スバルのみ | トルエン | g/台 | 0 | 0 | - | - | - |
| | 酢酸ブチル | g/台 | 92 | 110 | - | - | - |
| | キシレン | g/台 | 0 | 0 | - | - | - |
| | 板金入庫 | 台 | 882 | 477 | - | - | - |
| スバルTS級、S級取得率 | | % | - | - | 19.5 | 16.0 | 16.3 |
| グリーン購入 | | 品目数 | 172 | 169 | 156 | 159 | 172 |
| 環境対策車販売台数 | | 台 | - | - | - | - | - |
| 点検パック 付保率 | 新車時付保 | % | 87.6 | 86.4 | 87.6 | 88.2 | 89.7 |
| | 車検時付保 | % | 63.0 | 66.2 | 70.8 | 73.5 | 75.4 |
| セーフティチェック | | 台 | 49,454 | 50,328 | 49,888 | 49,081 | 47,387 |
| エコタイヤ販売比率 | | % | - | 54.2 | 56.8 | 55.1 | 58.7 |
| 産業廃棄物 発生量 | | t | 1,505 | 1,508 | 1,479 | 1,372 | 1,305 |
| 産業廃棄物 資源化・熱回収量 | | t | 1,251 | 1,240 | 1,214 | 1,129 | 964 |
| 産業廃棄物 最終処分量 | | t | 254.01 | 268.25 | 265.00 | 242.64 | 341.34 |
| 1億円あたり | 二酸化炭素排出量 | kg-CO2/億円 | 9,988 | 10,935 | 9,984 | 7,842 | 7,473 |
| | 水使用量 | m ³ /億円 | 96 | 100 | 86 | 73 | 65 |
| | 産業廃棄物最終処分量 | t/億円 | 0.74 | 0.85 | 0.80 | 0.68 | 0.91 |
| 売上高 | | 億円 | 345.37 | 317.07 | 331.30 | 359.15 | 374.24 |

【6】環境目標 2020～2022年度（基準年度：2017年度実績）、2023・2024年度（基準年度：2022年度・2019年度実績）

【中四国スバルグループ】

| 項目 | | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------------------|----------|--------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|---|
| 環境目標（削減率） | | | 2017年度 （基準年度）比 1.5%削減 | 2017年度 （基準年度）比 2%削減 | 2017年度 （基準年度）比 2.5%削減 | 電気：2022年度実績 燃料・水：2019年度比 0.5%削減 | 電気：2022年度比0.5% 燃料：2019年度比1.0% 水：2019年度比1.0% |
| 電気使用量 | | kWh | 4,470,964 | 4,448,269 | 4,425,574 | 4,197,279 | 4,176,293 |
| 燃料 | ガソリン | L | 661,038 | 657,683 | 654,327 | 591,552 | 588,579 |
| | 灯油 | L | 6,873 | 6,838 | 6,803 | 3,538 | 3,520 |
| | 軽油 | L | 136,655 | 135,961 | 135,267 | 127,832 | 127,190 |
| | LPG | kg | 8,882 | 8,837 | 8,791 | 7,244 | 7,207 |
| | 都市ガス | m ³ | 3,579 | 3,561 | 3,543 | 2,061 | 2,050 |
| 二酸化炭素排出量 ※1 | | kg-CO2 | 4,434,998 | 4,412,485 | 4,389,973 | 3,656,101 | 3,621,912 |
| 水使用量 | | m ³ | 40,484 | 40,279 | 40,073 | 38,589 | 38,395 |
| 主な化学物質 四国スバルのみ | トルエン ※2 | g/台 | 77.1 | 76.7 | 0.0 | | |
| | 酢酸ブチル ※2 | g/台 | 26.2 | 26.1 | 0.0 | | |
| | キシレン ※2 | g/台 | 86.5 | 86.1 | 0.0 | | |
| | 板金入庫 | 台 | 882 | 477 | | | |
| グリーン購入 | | 品目数 | 169 | 172 | 178 | 178 | 164 |
| 点検パック 付保率 | 新車時付保 | % | 84.8 | 88.8 | 89.8 | 89.8 | 85.1 |
| | 車検時付保 | % | 61.9 | 64.8 | 70.2 | 70.2 | 71.4 |
| セーフティチェック | | 台 | 44,298 | 44,517 | 44,734 | 44,734 | 45,140 |
| 産業廃棄物 | | | 現在の水準を 極力維持する | 現在の水準を 極力維持する | 現在の水準を 極力維持する | 現在の水準を 極力維持する | 現在の水準を 極力維持する |
| 1億円あたり | 二酸化炭素排出量 | kg-CO2/億円 | 9,471 | 9,423 | 9,374 | 11,046 | 10,980 |
| | 水使用量 | m ³ /億円 | 86 | 86 | 85 | 99 | 98.3 |

備考) ※1 購買電力の二酸化炭素排出係数
 ・～2022年度：中国電力、四国電力の2009年度排出係数0.63と0.41の6社平均値から算出した「0.557」を使用。
 ・2023年度：「中国電力：0.536」「四国電力：0.528」を使用。中国電力：再エネ特約プレミアムも導入。
 ・2024年度：「中国電力：0.520」「四国電力：0.464」を使用。中国電力：再エネ特約プレミアムも導入。
 ※2 四国スバルの板金工場閉鎖（2021年度12月）に伴い、中四国スバルグループで化学物質の排出がなくなったため目標は0としました。

【7】主要な環境経営計画の内容

環境負荷低減に資する製品への取り組み

①環境対策車の拡販（エコカー減税対象車、ハイブリッド車、EV車）

- ・CA^{※1}の商談力向上（研修、WEBトレーニング等実施）、出張展示会の開催、体感試乗の実施

※1 CAはカーライフアドバイザーの略

②セーフティチェック実施台数の増加

- ・点検パックの加入促進、展示会を活用した入庫促進、TS^{※2}の技術力向上

③エコタイヤ販売比率向上

※2 TSはテクニカルスタッフの略

- ・最新商品の知識習得、点検、車検、タイヤ交換時の積極提案

④点検パック付保率増加

- ・新車販売時、車検入庫時の全数提案

数値目標に対する取り組み

①CO2排出量の削減

（電気使用量削減）

- ・照明の適正化、採光場所ごと（お客様、従業員で線引き）
- ・節電の取組み：スイッチ部に「節電」貼り紙、昼休憩時事務所消灯
- ・ショールームオープン時間短縮、夜間PC主電源OFFを行う
- ・冷暖房の室温管理（夏季：26℃以上、冬季：23℃以下）
- ・照明の適正化：昼間明るい場所は消灯、屋外看板含む
- ・省エネタイプ機器への変換：OA機器、照明機器等

（燃料使用量削減）

- ・無駄な走行の排除、走行ルートの見直し
- ・引取、納車の極少化、効率化
- ・エコ運転の推進、エコドライブ5か条の推進
- ・キャリアカーの無駄なアイドリング排除
- ・代車の削減、効率的な使用（必要最小限の台数）

②水使用量の削減

- ・効率的な洗車の推進
- ・オフィスの節水活動推進（節水ラベル貼付）
- ・洗車時の配慮：洗剤使用の低減、節水ノズルの使用

③廃棄物排出量の削減、再資源化

- ・裏紙の使用、ペーパーレス化（WEB会議やiPadの活用）
- ・分別再資源化の強化（廃金属類の売却推進）
- ・メーカーによるリサイクルの完全準用

④グリーン購入品目の増加

- ・エコ商品の積極購入推進

数値目標以外への取り組み（職場環境、業務効率改善、地域貢献等）

①SDGsの取組促進

中四国スバルグループSDGs取組み3本の柱

- ・企業として支持される持続的な成長
- ・安全で楽しいクルマ社会の実現
- ・次世代に繋がる環境保全の活動

②本来業務の見直し、効率的営業活動

- ・健全な職場づくり・快適な店舗づくり
ワークライフバランスのための有給休暇取得促進
リスクマネジメント・コンプライアンス活動の推進
男性育休取得促進
- ・朝、昼、終礼の実施（進捗確認）し営業時間内に業務を終わらせる
- ・ショールームの営業時間厳守、WEBトレーニングによる商談力向上
- ・スマートボードによる工程管理（ムリ、ムダ、ムラを削減・作業時間の適正化）
- ・Garoonによる、効率化、見える化、コミュニケーション向上
- ・入庫の平準化（早期予約管理）による効率化

③社会への環境活動の推進

- ・地域密着型店舗実現のため地域、社会への環境活動を進める
（地域清掃活動の実施店舗を増やす）

④内部監査の実施

- ・事業会社内で店長を監査チームリーダーとし内部監査を実施する
（2023-24年度の2年間で全店舗実施）

⑤環境教育の実施

- ・EA21に関連した環境教育を行い浸透を図る
- ・年間教育計画に基づき教育を実施



【8】環境目標の実績

| 達成率 | 判定 |
|-------------|----|
| 100%以上 | ○ |
| 90%以上100%未満 | △ |
| 90%未満 | × |

【中四国スバルグループ】

| 項目 | | 単位 | 2024年度 | | | | |
|-----------------|------------|------------------------|-----------------------------|-----------|--------|--------------------------------------|---|
| | | | 目標 | 実績 | 達成率 | 判定 | |
| 電気使用量 | | kWh | 4,176,293 | 4,596,197 | 90.9% | △ | |
| 燃料 | ガソリン | L | 588,579 | 268,616 | 219.1% | ○ | |
| | 灯油 | L | 3,501 | 1,612 | 217.1% | ○ | |
| | 軽油 | L | 127,191 | 68,587 | 185.4% | ○ | |
| | LPG | kg | 7,555 | 5,479 | 137.9% | ○ | |
| | 都市ガス | m ³ | 2,121 | 3,109 | 68.2% | × | |
| 二酸化炭素排出量 | | kg-CO ₂ | 3,499,823 | 2,796,650 | 125.1% | ○ | |
| 水使用量 | | m ³ | 37,224 | 24,153 | 154.1% | ○ | |
| スバルTS1級、S級取得率※1 | | % | 17.0 | 16.3 | 95.9% | △ | |
| グリーン購入 | | 品目数 | 180 | 172 | 95.6% | △ | |
| 点検パック付保率 | 新車時付保 | % | 89.4 | 89.7 | 100.3% | ○ | |
| | 車検時付保 | % | 71.9 | 75.4 | 104.9% | ○ | |
| セーフティチェック台数 | | 台 | 45,140 | 47,387 | 105.0% | ○ | |
| エコタイヤ販売比率 | | % | 56.8 | 58.7 | 103.3% | ○ | |
| 産業廃棄物 | 発生量 | t | 現在水準 の維持 (右は前 年実績) | 1,372 | 1,305 | 発生量・最終 処分量共に減 少 再資源化 割合が増えた | ○ |
| | 資源化・熱回収量 | | | 1,129 | 1,103 | | |
| | 最終処分量 | | | 243 | 203 | | |
| 1億円あたり | 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ /億円 | 11,046 | 7,473 | 147.8% | ○ | |
| | 水使用量 | m ³ /億円 | 99 | 65 | 153.3% | ○ | |
| | 産業廃棄物最終処分量 | t/億円 | - | 0.54 | - | - | |
| 売上高 | | 億円 | - | 374.24 | - | - | |

備考) ◆達成率の評価は総量及び原単位指標（売り上げ1億円当り環境負荷）で行います。

◆購入電力の二酸化炭素排出係数は、

- ・中国電力：0.520 広島、山陰、岡山、山口(CS山口)
- ・中国電力：0.000 山口(CS山口を除く) ※CO₂フリー電力導入
- ・四国電力：0.464 東四国、四国

※1. TS：テクニカルスタッフ

主要な環境目標と達成率 2024年度（会社別）

| 達成率 | 判定 |
|-------------|----|
| 100%以上 | ○ |
| 90%以上100%未満 | △ |
| 90%未満 | × |

※主要環境目標達成率

| | 広島スバル | 山陰スバル | 岡山スバル | 山口スバル | 東四国スバル | 四国スバル | |
|----------------------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素 (kg-CO2) | 目標 | 845,529 | 576,915 | 580,938 | 287,452 | 564,091 | 644,899 |
| | 実績 | 724,838 | 427,719 | 482,892 | 130,466 | 474,860 | 555,876 |
| | 達成率 | 116.7% | 134.9% | 120.3% | 220.3% | 118.8% | 116.0% |
| | 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水道使用量 (m ³) | 目標 | 7,634.6 | 3,872.9 | 8,102.2 | 5,220.9 | 6,324.4 | 6,068.7 |
| | 実績 | 5,602.5 | 3,107.5 | 4,591.0 | 3,222.0 | 3,613.1 | 4,017.0 |
| | 達成率 | 136.3% | 124.6% | 176.5% | 162.0% | 175.0% | 151.1% |
| | 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

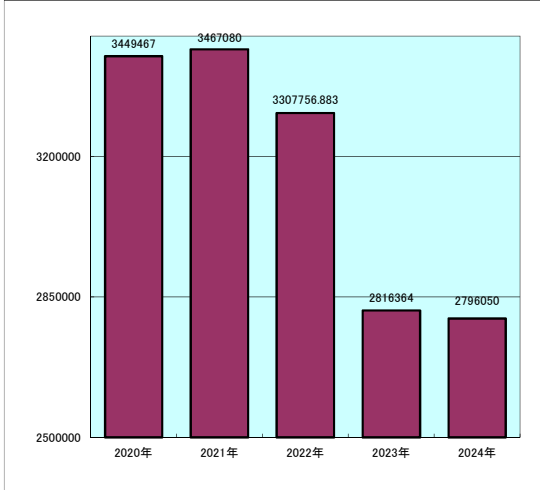
※数値目標達成率

| | | | | | | | |
|------------------------------|-----|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 電気使用量 (kWh) | 目標 | 1,046,150 | 477,284 | 687,208 | 641,476 | 658,728 | 665,448 |
| | 実績 | 1,111,683 | 545,513 | 726,020 | 691,164 | 696,515 | 828,057 |
| | 達成率 | 94.1% | 87.5% | 94.7% | 92.8% | 94.6% | 80.4% |
| | 判定 | △ | × | △ | △ | △ | × |
| ガソリン (L) | 目標 | 108,997 | 126,537 | 72,326 | 82,339 | 95,464 | 102,916 |
| | 実績 | 54,835 | 49,724 | 28,130 | 29,304 | 54,664 | 51,959 |
| | 達成率 | 198.8% | 254.5% | 257.1% | 281.0% | 174.6% | 198.1% |
| | 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 灯油 (L) | 目標 | 2,530 | 720 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 実績 | 1,157 | 438 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 達成率 | 218.6% | 164.3% | - | - | - | - |
| | 判定 | ○ | ○ | - | - | - | - |
| 軽油 (L) | 目標 | 16,213 | 11,101 | 21,263 | 30,314 | 13,951 | 34,350 |
| | 実績 | 6,351 | 8,052 | 15,407 | 16,580 | 3,602 | 18,594 |
| | 達成率 | 255.3% | 137.9% | 138.0% | 182.8% | 387.3% | 184.7% |
| | 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| LPG (kg) | 目標 | 113 | 164 | 259 | 4,725 | 116 | 2,177 |
| | 実績 | 85 | 45 | 116 | 5,128 | 20 | 84 |
| | 達成率 | 133.4% | 363.8% | 222.9% | 92.1% | 588.6% | 2583.2% |
| | 判定 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 都市ガス (m ³) | 目標 | 87 | 1,961 | | | | |
| | 実績 | 10 | 3,098 | | | | |
| | 達成率 | 841.5% | 63.3% | | | | |
| | 判定 | ○ | × | | | | |
| 点検パック 付保率 新車時付保 (%) | 目標 | 89.4% | 89.4% | 89.4% | 89.4% | 89.4% | 89.4% |
| | 実績 | 88.4% | 90.1% | 89.1% | 90.9% | 91.9% | 88.4% |
| | 達成率 | 98.9% | 100.8% | 99.7% | 101.7% | 102.8% | 98.9% |
| | 判定 | △ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |
| 点検パック 付保率 車検時付保 (%) | 目標 | 71.9% | 71.9% | 71.9% | 71.9% | 71.9% | 71.9% |
| | 実績 | 83.1% | 65.1% | 75.3% | 74.2% | 76.8% | 73.8% |
| | 達成率 | 115.6% | 90.5% | 104.7% | 103.2% | 106.8% | 102.6% |
| | 判定 | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| セーフティ チェック (台) | 目標 | 8,707 | 6,607 | 7,426 | 8,105 | 7,635 | 6,660 |
| | 実績 | 10,796 | 6,241 | 7,861 | 7,227 | 7,990 | 7,272 |
| | 達成率 | 124.0% | 94.5% | 105.9% | 89.2% | 104.6% | 109.2% |
| | 判定 | ○ | △ | ○ | × | ○ | ○ |

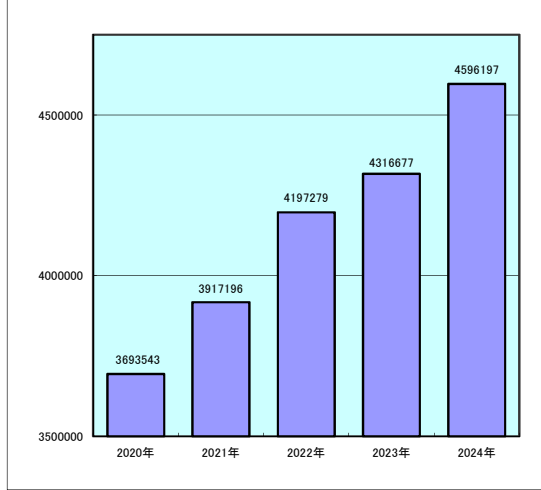
・購入電力の二酸化炭素排出係数につきましては、前ページ【8】環境目標の実績の下部、「備考）」をご参照下さい。

主要実績の推移

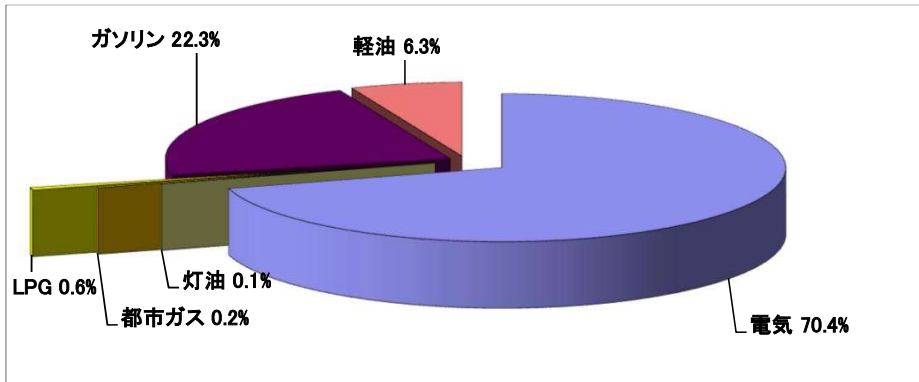
二酸化炭素排出量（単位：kg-CO₂）



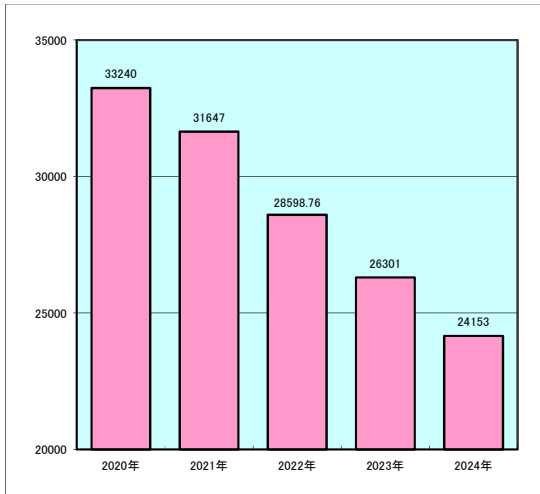
購入電力（単位：kWh）



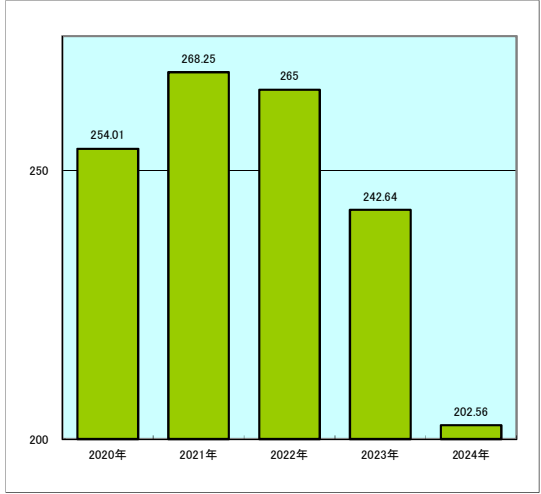
【参考】二酸化炭素排出割合（2024年度実績）



水使用量（単位：m³）



産業廃棄物 最終処分量（単位：t）



【9】環境活動計画の取り組み結果、次年度の環境目標及び環境活動計画

(1) 2024年度取り組み結果

環境負荷低減に資する製品への取り組み

①セーフティチェック実施台数の増加

- ・セーフティチェックの目標台数45,140台に対して、実施台数47,387台の結果でした。(目標達成率105.0%)

②エコタイヤ販売比率向上

- ・エコタイヤの目標販売比率56.8%に対して、58.7%の結果でした。(目標達成率103.3%)
【参考】2021年度：54.2%、2022年度：56.8%、2023年度：55.1%

③点検バック付保率増加

- ・新車時の点検バック付保率は目標89.4%に対して、89.7%の結果でした。(目標達成率100.34.3%) 一昨年度の87.6%、昨年度の88.2%と実績を伸ばす事ができました。

- ・車検時の点検バック付保率は目標71.9%に対して、75.4%の好結果となりました。(目標達成率104.9%) 一昨年度の70.8%、昨年度の73.5%から大きく実績を伸ばしています。店舗スタッフの日々の取り組みの結果です。

※点検バックにご加入のお客様は、車両メンテナンスの重要性をご理解されており、環境負荷低減にもご協力いただいている。引き続き、点検バック加入の促進を行い、確実にメンテナンスを実施することが重要。

数値目標に対する取り組み

①CO2削減

電気使用量

- ・電力使用量目標の4,176,293kWhに対して、4,596,197kWhの結果でした。(目標達成率90.9%)

※全ての社が前年、目標ともにオーバーした。工場エアコン稼働の影響が大きいのと思われる。7、8、9月、1、2月の使用量が増える傾向にある為、体調に気を付けながら適切に温度管理ができるよう周知していく必要がある。

燃料使用量

- ・ガソリン使用量目標の588,579Lに対して、268,6168Lの結果でした。(目標達成率219.1%)

※ガソリンの使用量についてはどちらかと言えば前年を上回っている社が多いが、山陰、岡山が使用量を抑え、全体では前年比減となった。

- ・その他の燃料については、灯油、軽油、LPGの目標達成ができた。都市ガスのみ未達となった。

②水道水の使用量削減

- ・水使用量目標の37,224㎡に対して、24,153㎡の結果でした。(目標達成率154.1%)

※継続的に行っている、効率的な洗車の推進(お客様が希望されない洗車の確認、洗車時使用する洗剤の低減、節水ノズルの使用)により、一昨年度の28,599㎡、昨年度の26,301㎡と比較しても大幅に削減できている。

③廃棄物の削減

- ・産業廃棄物の管理・運用に関しては、違反・指摘事項の無い適切な対応を継続して行いました。今年度も「産業廃棄物適正能力検定取得講習」を10月に実施し、新たに30名が合格。「産業廃棄物適正管理能力検定基礎編(旧_産業廃棄物適正処理管理士3級)」の資格を取得しました。(2022年度の合格者133名・2023年度の合格者28名) コンプライアンス遵守の強化を図っています。

- ・特定の産業廃棄物(廃油、廃バッテリー、廃タイヤ等)に関しては、スバルグループで一括管理され、規定に則り適切に運用しています。

④グリーン購入品目の増加

- ・グリーン購入の品目数目標180品目に対して172品目と、目標は未達(目標達成率は95.6%)となったが、昨年度の「目標160品目/実績159品目」と比較すると好結果となっている。

数値目標以外への取り組み

①SDGsの取組促進

- ・「2030年交通死亡事故ゼロ」を目指すSUBARUの運転支援システム「EyeSight」搭載車両及び環境負荷対策車(電気自動車、ハイブリッド車等、エコカー減税対象車)の拡販に注力しました。

②本来業務の見直し、効率的営業活動

- ・S-HEV(クロスステック)の受注が好調に推移した。安全の訴求と合わせスバルの強みなる。ただ高額化は止むを得ない為提案力の強化も同時に進めていく必要がある。

- ・男性の育児休暇取得率が上昇している。休暇制度の認知が広がり、恩恵を受ける社員が増えるのは良い傾向。有休取得も前年比増。土日の取得も増え働きやすさにつながっている。(2024年度 13.4日)

- ・統合に向けては各社での運用がまちまちである点が今後ネックになりそう。早めに情報を集め、現場が困らない様体制を整えたい。(情報の発信方法に十分注意が必要)

③社会への環境活動の推進

- ・今年度から中四国スバルグループ全社で、ビーチクリーン活動を行いました。
- ・今年度も日本ライフセービング協会へ、ライフセーバーカーを提供し支援を行いました。

※「2030年交通死亡事故ゼロ」を目指すSUBARUは、「水辺の事故ゼロ」を目指す日本ライフセービング協会の活動に賛同し、ビーチパトロールや地域の巡回の拠点となるライフセーバーカーの支援を行っています。

④内部監査の実施

- ・2024年度は概ね計画通りに実施しました。法令違反に繋がるような大きな指摘事項・改善事項はありません。軽微なものについては即時改善の確認済みですが、その後の改善継続についても確認を行って行きます。

⑤環境教育の実施

- ・環境教育(エコアクション21、SDGs)は、計画通り実施しました。
- ・新入社員研修時に、SDGsの理解をより深めるため、SDGsカードゲームを織り込んだ教育を行いました。

各社各店舗の取り組みの様子

節電、節水をお客様にもご理解、ご協力いただくために



ブラインドで日差しを調節し節電



手順書に従った空調の温度設定



毎月の環境データを掲示



専用のケースで紙ごみの分別



油脂庫の表示



整理された油脂庫内



ビーチクリーン活動



地域清掃活動



日本ライフセービング協会支援
(ライフセーバーカー引き渡し式)



日本ライフセービング協会支援
(サポーター講習会・AED講習会)



グループ全体での新入社員教育



(2) 次年度の環境目標及び環境活動計画

次年度の環境目標は次表の通りで、環境活動計画は以下の通りです。

環境目標 2025~2029年度 (基準年度 2024年度実績)

| 項目 | | 単位 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|----------------|-------|--------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 環境目標 (削減率) | | | 電気・燃料・水 2024年度実績 | 電気・燃料・水 2024年度実績-0.5% | 電気・燃料・水 2024年度実績-1.0% | 電気・燃料・水 2024年度実績-1.5% | 電気・燃料・水 2024年度実績-2.0% |
| 電気使用量 | | kWh | 4,274,517 | 4,253,144 | 4,231,772 | 4,210,399 | 4,189,027 |
| 燃料 | ガソリン | L | 247,887 | 246,648 | 245,408 | 244,169 | 242,929 |
| | 灯油 | L | 1,612 | 1,604 | 1,596 | 1,588 | 1,580 |
| | 軽油 | L | 65,526 | 65,198 | 64,871 | 64,543 | 64,215 |
| | LPG | kg | 5,447 | 5,420 | 5,393 | 5,365 | 5,338 |
| | 都市ガス | m ³ | - | - | - | - | - |
| 二酸化炭素排出量 | | kg-CO ₂ | 2,620,399 | 2,607,297 | 2,594,195 | 2,581,093 | 2,567,991 |
| 水使用量 | | m ³ | 22,390 | 22,278 | 22,166 | 22,054 | 21,942 |
| TS1級、S級取得率 *2 | | % | 3.0以上 | 3.0以上 | 3.0以上 | 3.0以上 | 3.0以上 |
| セールスSTARS1級取得率 | | % | 16.3以上 | 16.3以上 | 16.3以上 | 16.3以上 | 16.3以上 |
| 点検バック付保率 | 新車時付保 | % | 88.9 | 88.9 | 88.9 | 88.9 | 88.9 |
| | 車検時付保 | % | 73.3 | 73.3 | 73.3 | 73.3 | 73.3 |
| セーフティチェック | | 台 | 43,979 | 43,979 | 43,979 | 43,979 | 43,979 |
| 産業廃棄物 | | | 現在の水準を極力維持する | 現在の水準を極力維持する | 現在の水準を極力維持する | 現在の水準を極力維持する | 現在の水準を極力維持する |

*1 購買電力のCO₂排出係数は2024年度基準。《通常電力》中国電力：0.520、四国電力：0.464 《CO₂フリー電力：0.000》

*2 TS：テクニカルスタッフ

*3 毎年見直しあり。目標：前年度実績。

*4 毎年見直しあり。目標：前年度全国平均。

① SDGsの取組促進 (CSR重点6項目 ※他項目と重複目標有り)

- *愛されるスバル/地域イベント・社会貢献活動への参加
- *パートナーシップ/パートナーシップ構築宣言 (価格協議等)
- *安心と安全/「2030年交通死亡事故ゼロ」を目指す
- *ダイバーシティ/多様な働き方推進・人財活用
- *環境保全/エコアクション21の取組
- *リスクコンプライアンス/リスクの把握に努め、コンプライアンス遵守活動を推進

② 働きがいのある健全な職場づくり・快適な店舗づくり

- *健康経営の取組強化
- *有給休暇取得状況の配信、低取得者への取得促進
- *リスクマネジメント研修、コンプライアンス研修の実施

③ 本来業務の見直し

- *朝・昼・終礼の実施 (進捗確認) し営業時間内に業務を終わらせる
- *WEB会議やWEB商談の活用
- *ショールームの営業時間厳守
- *WEBトレーニングによる商談力向上

④ スマートボードによる工程管理 (ムリ、ムダ、ムラを削減・作業時間の適正化)

- 入庫の平準化 (予約管理) による効率化
- *店舗による予約管理・早期予約の取組を推進して工程管理を行う
- *一発修理の取り組み

⑤ 従業員のレベルアップ/テクニカルスタッフ TS1級、S級取得比率向上

- *研修やOJTによるメカニック技術力の向上
- *研修や勉強会の実施・STAGE学習の定着

⑥ 従業員のレベルアップ/セールススタッフ セールスSTARS1級取得比率向上

- *WEBトレーニングによる商談力向上
- *研修や勉強会の実施・STAGEの定着

⑦ 環境対策車の拡販 (エコカー減税対象車、ハイブリッド車、EV車)

- *販売、提供するサービスによる環境負荷低減
- *ユーザー指導管理化 (環境改善指導) 環境対策車販売促進

⑧ 新車時点検パックの付保、車検時点検パックの付保

- *商談時、車検時に確実な提案を行なう
- *車検7ヶ月前提案、3ヶ月前診断の入庫数を増加させ、全数提案を行なう

⑨ セーフティチェック実施台数の増加

- *WEB入庫予約の活用促進、点検入庫促進することにより排気ガスのクリーン化、環境に良い状態にする事が目的

⑩ CO2削減 ※「EcoAssist(株式会社SUBARUの環境データ集計システム)」の活用

- 電気、化石燃料使用量削減
- *照明の適正化、採光場所ごと（お客様、従業員で線引き）
- *節電の取組み：スイッチ部に「節電」貼り紙、昼休憩時事務所消灯
- *ショールームオープン時間短縮、夜間PC主電源OFFを行う
- *冷暖房の室温管理（夏季：26℃以上、冬季：23℃以下）
- *照明の適正化：昼間明るい場所は消灯、屋外看板含む
- *省エネタイプ機器への変換：OA機器、照明機器等
- *無駄な走行の排除、走行ルートの見直し
- *引取、納車の極少化、効率化
- *エコ運転の推進、エコドライブ5か条の推進
- *キャリアカーの無駄なアイドリング排除
- *代車の削減、効率的な使用（必要最小限の台数）

⑪ 水使用量削減 ※「EcoAssist(株式会社SUBARUの環境データ集計システム)」の活用

- *効率的な洗車の推進
- *オフィスの節水活動推進（節水ラベル貼付）
- *洗車時の配慮：洗剤使用の低減、節水ノズルの使用

⑫ 廃棄物処理業務の適正運用

- *廃棄物処理法順守、電子 manifests の完全運用、紙 manifests の適正管理
- *廃棄物保管場所の適正管理

分別再資源化、有償化の強化、最終処分量の削減

- *分別再資源化の強化（廃金属類の売却推進）
- *一般廃棄物排出量削減の取組

⑬ 廃自動車部品のリサイクルの遵守(ゼロエミッションスキーム/バンパー、廃油、バッテリー、金属類)

- SBR回収スキームの遵守(廃タイヤ、廃パンク修理剤)
- *法規制、社内基準の順守
- *メーカーによるリサイクルの完全準用

⑭ 店舗での社会貢献環境保全活動の推進

- *店舗での地域清掃活動の取り組み(日常の店舗周辺清掃を除く)
- *清掃活動以外の社会貢献・環境保全活動

⑮ 教育訓練、緊急事態訓練の実施

- *年間教育計画に基づき教育を実施
- 営業部毎の内部監査を実施する・管理体制の強化
- *内部監査計画に基づき実施（2年間で全店舗実施）

⑯ 一つのいのちプロジェクトの取組推進

ひとつのいのち、自然のいのちを守る活動をしている方たちを応援して、共に取り組む

- *ライフセービング協会支援
- *大山隠岐国立公園支援
- *ビーチクリーン活動

【10】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 違反・訴訟等の有無等

(1) 適用となる主な環境関連法規

| 主な適用法規 | 遵法状況の確認 | 要求事項 |
|------------|---------|--------------------------------------|
| 水質汚濁防止法 | ○ | 特定施設の届出（自動車洗浄装置の設置等） |
| 下水道法 | ○ | 排水施設の設置義務（特定施設の設置届出） |
| 浄化槽法 | ○ | 保守点検、清掃及び定期検査 |
| 騒音規制法 | ○ | 特定施設の設置の届出 |
| 振動規制法 | ○ | 特定施設の設置の届出 |
| 消防法 | ○ | 少量危険物貯蔵届出、危険物屋内貯蔵所 |
| 廃棄物処理法 | ○ | 廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約等 |
| 自動車リサイクル法 | ○ | 使用済み自動車の適正処理 |
| 化管法（PRTR法） | ○ | 特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録、基準以上の取扱量の行政への報告 |
| 労働安全衛生法 | ○ | 労働安全衛生法対応 |
| フロン排出抑制法 | ○ | 第一種特定製品の簡易点検実施と記録、定期点検実施と記録 |

(2) 違反・訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局からの違反等の指摘や訴訟は過去5年間ありません。

(3) 内部監査

2024年度は概ね計画通りに実施しました。法令違反に繋がるような大きな指摘事項・改善事項はありません。軽微なものについては即時改善の確認済みですが、その後の改善継続についても確認を行って行きます。



【11】代表者による全体評価と見直し

昨今の気候変動を鑑みると「スタッフの働く環境」を整える為にエアコンの活用は必須であり、電力使用量をモニタリングしつつも「環境の維持・向上」を進めていきたい。本業である車販の領域においては、SUBARUの主力パワーユニットである「S-HEV」の拡販に今後さらに注力し「環境に優しいクルマ」の普及に努めていく。また、内部監査をより機能させていくことで全社員の「環境意識の向上」を進め、改善行動を通じて「PDCAサイクル」をしっかりと回せる組織づくりを目指す。企業として「一つのいのちプロジェクト」の取り組み推進を「軸」に据え、全社員が「愛されるスバル」を実感できるよう積極的な行動を継続させていく。

スバル中四国株式会社 代表取締役 鈴木 泰介

【12】スバル中四国株式会社 店舗一覧表

文書番号：EMS-TSG003

2025年 10月 1日現在

| 本社・営業部 | | 店舗名 | 郵便番号 | 住 所 | 電話番号 | FAX番号 | 工場資格 | 組織区分 | |
|-------------------|--------------------|----------|-----------------|------------------|-------------------|--------------|--------------|------|---|
| 本社 | | 本社 | 733-0012 | 広島市西区中広町1-3-17 | 082-291-4355 | 082-291-6555 | - | A | |
| 第1事業本部 (岡山営業部) | 山陰営業部 | 鳥取県 | 営業部/米子店 | 689-3546 | 米子市熊党330-3 | 0859-27-9030 | 0859-39-3013 | 指定 | B |
| | | | CS米子 | 689-3546 | 米子市熊党53-1 | 0859-27-9020 | 0859-39-3012 | - | C |
| | | | 鳥取店 | 680-0911 | 鳥取市千代水1-165 | 0857-22-8366 | 0857-23-5172 | 指定 | B |
| | | 島根県 | 松江店 | 690-0011 | 松江市東津田町1851-1 | 0852-23-2345 | 0852-23-2348 | 指定 | B |
| | | | 出雲店 | 693-0004 | 出雲市渡橋町420 | 0853-21-2674 | 0853-21-2678 | 指定 | B |
| | | 岡山県 | 営業部/岡山久米店/CS久米店 | 701-0144 | 岡山市北区久米333-1 | 086-241-0811 | 086-244-0368 | 指定 | B |
| | | | 岡山原尾島店 | 703-8235 | 岡山市中区原尾島1-4-22 | 086-273-1398 | 086-273-9409 | 指定 | B |
| | | | 岡山藤田店 | 701-0221 | 岡山市南区藤田2090-1 | 086-296-5554 | 086-296-5584 | 指定 | B |
| | | | 倉敷中島店 | 710-0803 | 倉敷市中島1398-2 | 086-465-6331 | 086-465-6396 | 指定 | B |
| | | | 倉敷大島店 | 710-0047 | 倉敷市大島531-3 | 086-427-1682 | 086-427-1685 | 指定 | B |
| 第2事業本部 (山口営業部) | 広島営業部 | 広島県 | 営業部 | 733-0012 | 広島市西区中広町1-3-17 | 082-299-6205 | 082-299-6255 | - | A |
| | | | 福山店 | 721-0961 | 福山市明神町2-18-17 | 084-941-2155 | 084-943-2619 | 指定 | B |
| | | | 尾道店 | 729-0141 | 尾道市高須町1263-2 | 0848-46-2340 | 0848-47-1099 | 指定 | B |
| | | | 東広島店/CS東広島 | 739-0041 | 東広島市西条町寺家3981-1 | 082-422-2131 | 082-422-2249 | 指定 | B |
| | | | 中広店 | 733-0025 | 広島市西区小河内町2-8-1 | 082-232-5171 | 082-232-5174 | 指定 | B |
| | | | 東雲店 | 734-0023 | 広島市南区東雲本町3-5-24 | 082-284-2265 | 082-284-2254 | 指定 | B |
| | | | 緑井店 | 731-0103 | 広島市安佐南区緑井6-20-10 | 082-877-1385 | 082-877-1387 | 指定 | B |
| | | | 五日市店 | 731-5128 | 広島市佐伯区五日市中央6-2-48 | 082-923-5800 | 082-923-5941 | 指定 | B |
| | | 山口県 | 営業部/山口店/CS山口 | 753-0871 | 山口市朝田1049-1 | 083-922-2022 | 083-922-3115 | 指定 | B |
| | | | 新下関店 | 751-0877 | 下関市秋根東町3-31 | 083-256-5533 | 083-256-5543 | 指定 | B |
| | | | 宇部店 | 755-0045 | 宇部市中央町2丁目1-1 | 0836-31-5551 | 0836-31-5549 | 指定 | B |
| | | | 周南店 | 745-0868 | 周南市南浦山町4-8 | 0834-32-1417 | 0834-32-0722 | 指定 | B |
| | | | 岩国店 | 740-0032 | 岩国市尾津町2-11-17 | 0827-31-8121 | 0827-31-8123 | 指定 | B |
| | 第3事業本部 (東四国営業部) | 香川県 | 営業部/高松木太店 | 760-0080 | 高松市木太町2683 | 087-861-3600 | 087-861-6018 | 指定 | B |
| | | | 高松空港通り店 | 761-8082 | 高松市鹿角町421-5 | 087-865-5002 | 087-865-5488 | 指定 | B |
| 丸亀店・CS丸亀 | | | 763-0086 | 丸亀市飯野町西分甲491-1 | 0877-23-0245 | 0877-23-0249 | 指定 | B | |
| 徳島県 | | 論田店 | 770-8011 | 徳島市論田町大江26 | 088-662-1010 | 088-662-0731 | 指定 | B | |
| | | 徳島北店 | 771-1155 | 徳島市応神町西貞方字仁徳52-1 | 088-641-1800 | 088-641-1810 | 指定 | B | |
| | | 川内店 | 771-0131 | 徳島市川内町大松248 | 088-665-8200 | 088-665-8202 | 指定 | B | |
| 愛媛県 | | 営業部/高岡店 | 791-8036 | 松山市高岡町463-1 | 089-972-0192 | 089-965-1905 | 指定 | B | |
| | | 松山インター店 | 791-1114 | 松山市井門町455-1 | 089-969-1151 | 089-969-1152 | 指定 | B | |
| | | 新居浜店 | 792-0852 | 新居浜市東田3丁目乙8-6 | 0897-43-5725 | 0897-43-5727 | 指定 | B | |
| | | 宇和島店 | 798-0081 | 宇和島市中沢町1-5-7 | 0895-22-2219 | 0895-25-8072 | 指定 | B | |
| | | CS松山インター | 791-1114 | 松山市井門町455-2 | 089-905-7050 | 089-905-3176 | - | C | |
| | 高知県 | 高知榎橋通店 | 781-8010 | 高知市榎橋通4-15-7 | 088-832-1111 | 088-832-4950 | 指定 | B | |
| 高知東店 | | 781-5106 | 高知市介良乙1060-10 | 088-878-7185 | 088-878-7186 | 指定 | B | | |

※CSIはカースポットの略

※工場資格 指定：指定整備工場、認証：認証整備工場

※組織区分

A = オフィス業務（事務所業務）

B = オフィス業務 + 自動車販売（新車・中古車）+ 整備業務

C = オフィス業務 + 自動車販売（中古車）